

年次継続監視評価表(令和元年度)

1 基礎情報

対象施設	道の駅「庄和」
施設の設置目的	農産物及び地域特産品の紹介、販売並びに地域情報の発信を行い、地域間の交流を促すとともに、産業の振興及び地域の活性化を図る
施設所管部署	観光振興課
指定管理者	庄和商工会
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
指定管理業務内容	(1)施設、附属設備及び備品の維持管理に関すること (2)施設の広報、宣伝及び情報提供に関すること (3)農産物及び特産品等の調査、研究及び開発並びに展示、販売及び食体験に関すること

2 施設利用状況の推移

区分	過去3年間の平均	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数(件数)	647,536人	634,761人	612,070人	575,281人	553,735人	548,495人
対前年度比	-	3,887人	▲ 22,691人	▲ 36,789人	▲21,546人	▲5,240人

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果)

区分	回答者数	満足度				
		施設・設備管理	接客対応	教室・イベント等	その他	全体
上半期	199人	100.0%	99.0%	89.5%	全体的に高評価	99.0%
下半期	206人	98.0%	99.5%	100.0%	全体的に高評価	94.8%
利用者の主な意見・要望等	美味しいパン屋、カフェを開設してほしい。 駐車スペースが足りない。 食彩館がプレハブそのもので外から食事をする場所に見えないのが残念です。					

4 主な自主事業実績

自主事業名	内容	参加者数等
よさこい応援団チャリティー演舞	ボランティア団体による演舞活動	1,500人
全国有名駅弁大会(全3回)	全国の有名駅弁を一同に集め販売するイベント	1,000人
気仙沼復興応援 さんま祭り	生さんまのつかみ取りするイベント	400人

5 主な修繕実績

修繕箇所・修繕名等	内容	金額
食彩館エアコン取替工事	経年劣化による食彩館のエアコンの交換	939,600円
自動ドア装置取替工事	経年劣化による自動ドアの取替工事	308,000円
排水施設メイン送風機交換工事	経年劣化による排水施設メイン送風機の交換	198,000円

6 収支状況

(単位:円)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
収入額 A	94,224,142	87,208,216	87,009,068	86,099,402	85,892,735	440,433,563
内、指定管理料 a	0	0	0	0	0	0
内、利用料金収入	87,453,701	83,805,522	86,073,461	84,678,417	84,603,400	426,614,501
支出額 B	91,160,433	86,106,244	84,709,068	84,210,287	84,915,742	431,101,774
内、人件費	24,442,602	25,309,837	26,444,169	26,720,915	25,912,483	128,830,006
収支額 A-B	3,063,709	1,101,972	2,300,000	1,889,115	976,993	9,331,789
対前年度比	-	▲ 1,961,737	1,198,028	▲410,885	▲ 912,122	▲ 1,675,831
想定事業費 C	104,217,831	98,296,407	95,764,899	94,989,372	96,503,259	489,771,768
削減額 C-a	104,217,831	98,296,407	95,764,899	94,989,372	96,503,259	489,771,768
特記事項(増減額の説明等)	想定事業費については、支出額総額から人件費分を差し引き、従事職員数(5人)に750万円を乗じて加算している。					

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視評価結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	施設来館者数が計画人数を下回っている。集客力のあるイベントや企画等の実施等を検討、効果的な宣伝方法を検討。
第2四半期	A	施設来館者数が計画人数を下回っている。集客力のあるイベントや企画等の実施等を検討、効果的な宣伝方法を検討。
第3四半期	A	施設来館者数が計画人数を下回っている。集客力のあるイベントや企画等の実施等を検討、効果的な宣伝方法を検討。
第4四半期	A	施設来館者数が計画人数を下回っている。集客力のあるイベントや企画等の実施等を検討、効果的な宣伝方法を検討。

※評価結果の凡例

A：適切な指定管理業務が実施されている。

B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。

C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取組を見直す。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	事業等の内容に偏りがないか。	○
		施設の利用が一部の利用者に偏った計画・実施となっていないか。	○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。	○
		受付等業務従事者の接客態度・対応は適切か。	○
		パンフレットの整備等、積極的な利用案内が行われているか。	○
		自主事業は適正・効果的な実施となっているか。	○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。	○
		書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。	○
		施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。	○
		適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	×
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。	×
		指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われているか。	○
		サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。	○
		会計処理業務が適切に行われているか。	○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。	○
		職員の育成指導、研修体制は十分か。	○
		適正な雇用・労働条件が確保されているか。	○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。	○
		地域経済の活性化に繋がる市内事業者との連携が図られているか。	○
		市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○
適(○)の数		18 / 20	

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について
粗大ごみの処理券の販売といった、住民のニーズに対応したサービスを提供している。 SNSや無料広告を効果的に活用し、広告宣伝費等の節減に努めている。
指導に対する対応・改善状況について
首都圏外郭放水路の見学者を対象とした特別サービスを実施し、集客の増加に努めている。
その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)
施設の大規模改修が見込まれるため、市と指定管理者で連携を図りながら計画的に修繕を行っていく必要がある。 近隣市にて新規開設が控えているので、施設や運営等で競争力向上の必要がある。

令和元年度の評価結果

A